

大樹の礎

Taiju no Ishizue

President Message

建学の精神「報恩感謝」のもと 大学創立10周年を迎えさらなる飛躍を

学長 新藤 宣夫



新藤 宣夫学長

な指導の下で、それに応える学生達の
たゆまぬ努力の結果、収めることがで
きたものです。

もちろん本学の目標は国家試験に
合格することだけではありません。近
年、医療技術は高度化・専門化が進ん
で、さまざまな専門職が連携し、最適
かつ安全な治療を提供する「チーム医
療」が主流となり、高い専門性が求め
られております。本学ではそれぞれの
国家資格を得て、それぞれの目標に向
かい社会に貢献できる人材の育成を
目指しております。医療従事者として
求められることは、高い専門性や技術
はもちろんのこと、優れた人間性も大
変重要となります。「報恩感謝」の心
を持ち、一日一日を大切に過ごして
欲しいと願っています。

大学創立10周年記念行事開催 施設環境の整備を進展

本学は今年度、大学創立10年目を
迎えます。これも保護者の皆様を始
め、地域住民の方々、実習・就職でお
世話になっている病院・施設の関係者
の皆様や、その他多くの方々からご支
援を頂いた賜物であり、厚く御礼申し

上げます。節目の行事として、文化人
による記念講演や、専門学校時代を
含め本学との関係の深い方々との懇
親会の開催をはじめ、10周年記念誌
の発行も予定しております。

また、昨年10月に本部棟を竣工し、
事務の効率化を図るべく、各棟に分散
していた大学本部機能を集約しまし
た。この移動により増加する学生の
学習環境を充実すべく空いた場所を
教室等に改修しております。さらに、
本部棟1階の学生ホールに無線
LANの環境を整え、NIMSポ
ータルを利用し、大学と学生との双方
のタイムリーな情報共有の推進をして
おります。病院・施設の求人情報等も
学生の端末から確認できるようになっ
ております。今後、新たに体育館と学
生会館の建設を計画しており、教育
施設の拡充を図っていきたくと考えて
おります。

国際感覚あふれる人材育成に向け グローバル化を推進

現在、日本では少子高齢化の進行
や地域コミュニティの衰退に対する対
策、グローバル化の推進といったさまざ

まな問題に直面しており、文部科学省
が進めている改革では、これらの課題
や社会に対応できる人材が求められ
ております。本学もこれに対応した大
学の将来構想や人材育成に努めてお
ります。

アジア各国の中には理学療法学や
作業療法学といった概念や考え方のな
い国もあります。先進国の最先端の医
療や福祉制度の違いについて学ぶのは
もちろんのこと、発展途上の国々に対
し先進国が主導となり、医療ビジネス
へと発展させようとしている状況等を
知り、世界情勢の理解を深めること
によって、医療従事者としての視野が広
がるかと考えております。具体的には昨
年「2015 International Competition
Day for PT students (ICD 2015)」
に参加し、本学の学生が放射線撮影
技術を競うチーム戦で3位(銅賞)を
受賞しました。また、「中華人民共和
国国際放射線学会」において学会発
表を行い成果を得る等、海外との交
流を広げることができました。

今後も学生のみならず、教員にお
いても同様に海外派遣をし、アジア各
国をはじめとした世界の医療状況を
研究して、国際的な感性を併せ持った
医療従事者を育てていきたいと考え
ています。

高度な専門性と豊かな人間性を 兼ね備えた医療従事者を育成

本学の建学の精神である「報恩感
謝」を医療現場で実践できる人材育
成に努力し、多くの診療放射線技師、
理学療法士、作業療法士を送り出し
てきました。加えて今年の3月には看
護師、臨床工学技士の資格を取得し
た初めての卒業生を医療現場へ送り
出すことができました。特に看護学科
においては国家試験合格率100%
を達成することができました。これら
は教職員が一丸となり、質の高い熱心

平成
27年度

国家試験を
終えて

今年度の対策と学生・保護者の皆様に 向けてのメッセージ

国家試験は4年間の集大成
全教員が一致団結でサポートを

診療放射線学科 学科長 中谷 儀一郎

平成27年度診療放射線技師国家試験の合格率は94・9%で、全国平均を上回りました。国家試験対策に係わった4学年担任を中心に一致団結して取り組みを行った成果と考えます。講義時間内に留まらず、学生に対して放課後(20時まで)や休日に渡って指導・補講に取り組んだ教員の熱意と、それに必死に答えてくれた第6期生のがんばりの結果と考えます。

28年度の国家試験対策も昨年同様に、4学年担任を中心とした教員の一致団結と共に、例年通りきめ細やかな指導を行い、27年度同様の高い合格率の維持を目標に努力していきます。

診療放射線学科をはじめすべての医療系の学科の勉強に近道はありません。毎日こつこつと積み上げていくしかありません。国家試験は4年間の集大成となるため、1

年次、2年次の医療・理工系の基礎科目、専門基礎科目は大変重要です。学生が毎日ご家庭で予習、復習を行っているか注意深く見守って頂ければありがたいです。もし、ご心配な事が生じましたら遠慮なくお問い合わせください。ご家族のご支援をお願いいたします。

基礎知識・技術力はもちろん
医療従事者としての心の充実も大切

理学療法学専攻 専攻長 伊藤 芳保

平成27年度理学療法士国家試験の全国平均合格率は、理学療法士国家試験が始まって以来最も厳しい合格率、74・1%となりました。しかし、試験内容は昨年と同様、基礎知識をしっかり積み重ねていけば、合格につながる出題と考えられます。入学当初から国家試験を意識付け、「基礎知識・技術力、そして医療従事者としての心の充実」を目指すことが重要であると感じさせられます。

28年度の国家試験も、共通問題という専門的知識が問われる出題と臨床的応用力が試される実地問題から構成され、臨床実習の経験と臨床に対する応用が重要になると思われます。実地問題は、臨床実習で学ぶことが多いものばかりです。臨床実習では、積極的に多くの体験を積んで頂きたい。そして、28年度は、ぜひ全員合格を勝ち取りたいと思います。

国家試験は、学内での日々の勉強とそれを基礎とした臨床実習での応用と経験が問われる試験です。とても数日で、対策が出来る訳ではありません。普段の規則正しい生活が重要であり、勉強を続ける習慣が大切です。時には、勉強してもなかなか成績が伸びずに悩むこともあると思います。しかし、地道に続けることで必ず報われる時がやってきます。精神的に悩んでいる姿を見られましたら、そつと心の支えになって頂きたいと思えます。教員一丸となって全員合格を目指していますので、ご家族のご支援をお願いいたします。

新任教員の紹介



看護学科 教授 及川 裕子



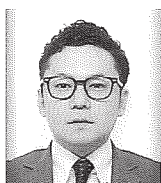
臨床工学科 教授 中尾 教伸



看護学科 講師 荒木 とも子



看護学科 講師 花里 陽子



診療放射線学科 助教 秋葉 憲彦

高いモチベーションを継続し
勉強に集中できるように支援

リハビリテーション学科 学科長 兼

作業療法学専攻 専攻長 本田 豊

平成27年度作業療法士国家試験は、合格率が97%を超え、全国平均を上回りました。本当に良い結果であったと思います。皆が最後まで気を抜かず、地道に努力した結果だと思っています。

28年度は、全員が国家試験に合格し、4月から作業療法士として働けるようにしたいと思っています。そのために、学生がモチベーションを高めながら国家試験勉強を継続できるように支援をしていくことが重要です。学生が勉強に集中して効率的に取り組めるように、教員が連携して学生をサポートしていききたいと思います。

学生一人一人を大切にしていきます。学生の日々の様子や成績をすべての教員で共有し、相談し合い、担任を中心に個別に対応します。また、学生は集団の中でこそ、社会で通用する真の実力を育むという考えにも立ち指導しています。ご不明な点、ご心配なことがありましたらいつでもお問い合わせいただくと共に、ご家族のご支援をお願いいたします。

臨床実習等で思いを強く
学生と教員とが一つになり意欲的に

臨床工学科 学科長 平井 紀光

平成27年度臨床工学科士国家試験の結果は、第1期生の合格率が91.7%で、全国合格率72.5%を大幅に上回り、ほぼ満足な結果を得ることができました。これも、保護者の皆様の日頃のご支援とご協力があつてのことだと思っています。

28年度の国家試験を控える4年生は、臨床実習の体験をとおして臨床工学科士になりたいという思いを強くしております。来年3月の国家試験に向けて全員合格を目指して学生と教員とが一つになり意欲的に受験勉強に取り組んでいるところです。

学生の皆さんにとって目標達成に向けて重要なことは、毎日適正な睡眠時間を確保し、朝食をしっかりと食べるなど、毎日の正しい学習習慣を身に付けて意欲的に授業を受けることだと思います。今後とも変わらぬ温かい、ご家族のご支援をお願いいたします。

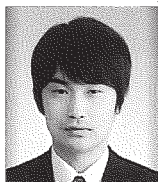
第1期生は合格率100%を実現
今年度も全員合格を目指す

看護学科 学科長 小山 英子

平成27年度看護師国家試験の必修問題は、80%以上という絶対基準があり、全員がクリアしているという確信がありました。しかし、一般・状況設定問題は、合格ラインが毎年変動するため結果の予測は困難でした。第1期生の全員合格を目標に、学生・教員共に取り組み、それが実現し、今は喜びをかみしめているところです。全員が、最後まで諦めず、地道に努力した結果だと思っています。

看護師国家試験の範囲は膨大であり、学習量が可否を分けます。第2期生も全員合格が実現できるよう、気を引き締めて全力で取り組みます。

看護学科では、模擬試験や学習会、補講などを行う一方、全教員が3〜4名の学生を担当し、小グループでの指導も実施しています。しかし、最も重要なことは、学生本人の学習姿勢です。生活リズムを整え、健康管理をしながら、地道に粘り強く学習できるように、ご家族のご支援をお願いいたします。



看護学科 助手
五十嵐 貴大



医療・基礎教育科 助教
白戸 亮吉



臨床工学科 助教
椎葉 倫久



看護学科 助教
堀越 薫



看護学科 助教
奥山 陽子

ご卒業306名・ご入学384名、おめでとうございます!

平成27年度 学位記授与式

2015 Graduation Ceremony



平成27年度 卒業生受賞者

◎診療放射線学科

学長賞
埼玉県診療放射線技師会 会長賞
埼玉県診療放射線技師会 奨励賞

山田 恭平
佐藤 和司
戸澤 僚太

◎理学療法学専攻

学長賞
日本理学療法士協会 優秀賞
全国リハビリテーション学校協会 優秀賞
理学療法科学学会 優秀賞

高田 慈都
高橋 優奈
小林 真智仁
鈴木 智仁

◎作業療法学専攻

学長賞
日本作業療法士協会 優秀賞
全国リハビリテーション学校協会 優秀賞
埼玉県作業療法士会 会長賞

金子 圭輔
野口 龍介
池田 亮
戸枝 亮

◎看護学科

学長賞
日本私立看護系大学協会 会長賞

鈴木 聡佳
鈴木 里佳

◎臨床工学科

学長賞
日本臨床工学士会 会長賞
日本臨床工学士教育施設協議会 代表理事賞

佐藤 美野
來住 恒住
小林 正典

開催日:平成28年3月10日(木) 開 式:午前11時
会 場:川越プリンスホテル(川越市新富町1-22)

3月10日、川越プリンスホテルにおいて学位記授与式が盛大に行われました。卒業生数は、診療放射線学科79名、理学療法学専攻72名、作業療法学専攻34名、看護学科85名、臨床工学科36名の合計306名のほりましました。

開式の辞、君が代斉唱、学位記授与、学生表彰が終わると、新藤学長が「今年度は診療放射線学科、理学療法学専攻、作業療法学専攻に加え、看護学科と臨床工学科の1期生も卒業を迎えられたことに喜びをかみしています。建学の精神である『報恩感謝』と、『人間の豊かさ』は物ではなく心にある」という言葉を卒業生の皆様に送ります」と式辞を述べました。

続いて役員挨拶として新藤博明理事(副学長)が「今日からは本学の卒業生として諸先輩方が築いてきた実績を胸に、仕事に誇りと自信を持ち、人生の王道を歩んでください」と卒業生へエールを送りました。

卒業生代表で謝辞を述べた看護学科の鈴木聡佳さんは「これから医療従事者としての期待の大きさと責任の重さを感じ、身の引き締まる思いです。私たちはこれから全国各地の医療現場で働くこととなりますが、本学の卒業生としての誇りと責任感を持って日々邁進していくことをお約束します」と宣誓しました。卒業生は新たな門出を迎え、希望で目を輝かせました。

2016 Entrance Ceremony



平成28年度 日本医療科学大学入学式



開催日:平成28年4月4日(月) 開 式:午前11時
会 場:川越プリンスホテル(川越市新富町1-22)

4月4日、川越プリンスホテルにおいて平成28年度入学式が開催されました。診療放射線学科96名、理学療法学専攻99名、作業療法学専攻38名、看護学科98名、臨床工学科53名、合計384名が、入学の認証を受けました。

新藤宣夫学長は「新入生の多くは高等学校卒業にあたり、それぞれが診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、看護師、臨床工学士の道を選び、今日という日を迎えたことを、あらためて認識してください。初心を忘れず、国家資格を得て社会に貢献できる医療従事者に成長し、堅実な人生を歩んでください」と式辞を述べました。

続いて役員挨拶で新藤博明理事(副学長)が「医療従事者として求められる力量は学力、知識、技術だけではなく、新入生は大学生活の一步を踏み出し、新入生代表として壇上に登った診療放射線学科の瀬野真由さんは「将来、立派な医療従事者になれるよう、また、本学の学生として輝かしい足跡を残せるように、研鑽と努力を重ねることをお誓い申し上げます。これから多くの困難が待ち受けていると思いますが、同じ目的を持って入学した仲間と手を携えて精進してまいります」と宣誓しました。保護者の皆様の温かい眼差しに見守られ、新入生は大学生活の一步を踏み出しました。

平成28年度 入学式